

覚悟

R5.7.4 発行
校長：種吉 信二

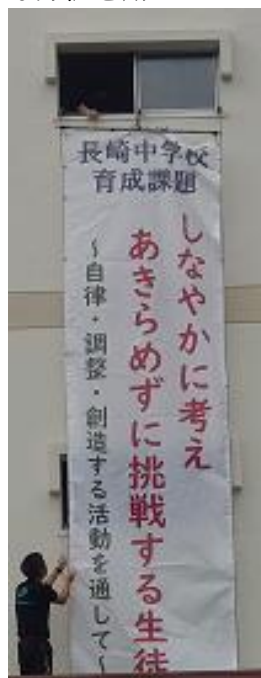
本校の一番の目標

学校は教育課程に従って教育活動を推進しています。その教育課程を作成するにあたり今年度の本校の育成課題を「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒 ～『自律』『調整』『創造』する活動をとおして～」としました。そして、このことを常に意識した取り組みを展開しています。

しなやかに考えることは自分の可能性を伸ばし、広げるうえでとても大切です。しなやかに考える人は、失敗したらどうしようとか人と比較して自分は劣っているとか自分がうまくいかないのは環境のせいだとか自分が努力できないのは自分ではどうしようもないなどとは考えません。しなやかに考える人は、努力の中に自分の成長した瞬間を見つけることを楽しみにして生活をします。結果も大事だけどその過程がもっと大事だと考えています。

では、どうしたらしなやかに考えることができるようになるのでしょうか。それは、結果のみにこだわらずということのポイントようです。結果にこだわると結果しか見えなくなり、結果を導くためにどんな方法を用いたのか、どれだけ努力をしたのか、どんな選択をしたのかということに目が行きにくくなります。実はその中に成功のヒントや秘訣が隠されているし、少々のことでは折れないタフさを身に付けることができるのです。

子どもの可能性を伸ばし、広げるために「あなたはどんどん伸びていく人間。あなたの成長に関心がある」というメッセージを積極的に伝えていきましょう。



(懸垂幕を取り付けました)

教育週間は終わりましたが・・・

長崎っ子の心を見つめる教育週間が終わりました。期間中はすべての授業を公開するとともに学校保健委員会、SNSノート長崎を活用した授業、生徒総会などを行い、保護者や地域の皆様に来校してもらい、実際に子どもたちの様子を見ていただきました。なかでも7月1日(土)は土曜授業として「いのちに関する道德の授業」をはじめ、起業体験学習の株主募集集会や育成会を計画していましたが、大雨のため中止としました。代替措置として株主募集会は明後日(6日)の14:00から、道德の授業は19日(水)の11:30から開催することとしました。急な変更で申し訳ありませんが、どうぞご来校のうえ子どもたちの活動を見守ってくださるようお願いいたします。

七夕チャレンジ

学校図書館前の廊下には大きな天の川がかかっています。学校図書館司書の牧山さんの発案で行われている企画で、生徒の皆さんが図書館で本を借りて読んだら星を張って、織姫と彦星をつなぐというものです。先日、星を数えたら135個ありました。七夕の7月7日には本校の生徒数の192は超えると思います。

生徒の皆さんはもうすぐ夏休みです。夏休みは自分の時間が増えます。読書をするには絶好の期間です。私が近所の図書館を利用するときにはいつも3冊本を借りることにしています。1冊は仕事(教育)に関する本、2冊目は自分の興味がわくジャンルの本、3冊目は図書館の企画コーナーの本です。そうすると少しだけ視野が広がるように思います。SNSでは人生の幅を広げることは難しいけど、読書は確実に思考に幅と深まりを与えてくれます。読書の夏にしましょう。



(美しい天の川が完成しそうです)